



グローバルCOEプログラム  
境界研究の拠点形成：スラブ・ユーラシアと世界

2013年度・前期  
道民カレッジ連携講座

# 土曜市民セミナー

共  
催



北海道大学スラブ研究センター



北海道大学総合博物館

講師 **松枝大治** Hiroharu Matsueda  
(北海道大学総合博物館・前館長)

北海道から北東へ連なるクリル（千島）列島とその延長のカムチャッカ半島は、日本から距離的には近いにもかかわらず、様々な事情で遠い存在となっています。我が国と同じ島弧の環境にあり、豊富な地下鉱物・エネルギー資源に恵まれているこれらの地は、これまでほとんど手が付けられて来なかった場所ですが、近年ようやく世界の注目を浴びつつあり、その開発に熱い期待が持たれています。今回は、世界遺産の美しい自然に囲まれた地質や地下資源の現在と未来について紹介します。

日時/会場

**5月18日(土)**

13:30-15:00/

北海道大学総合博物館1階  
「知の交流」コーナー

入場無料 | 申込不要 | 定員60名  
\*定員を超えますと立ち見となる場合がございます。

地質と鉱物・エネルギー資源の現在と未来

近くて遠い  
クリル・カムチャツカ

## 本セミナーに関するお問い合わせ先

**SRC** 北海道大学スラブ研究センター「境界研究の拠点形成」事務局  
TEL: 011-706-2380/4809 E-mail: gcoe-jimu@slav.hokudai.ac.jp  
http://borderstudies.jp

## 北海道大学総合博物館

 〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
TEL: 011-706-2658 http://www.museum.hokudai.ac.jp/

**関連展示**  
GCOE 第8期展示  
「知られざるクリル・カムチャッカーロシアから見た境界のイメージ」展  
●会期 1月25日(金)～5月26日(日)  
●会場 北海道大学総合博物館2階 GCOE 展示ブース

